

中央社会保障推進協議会 2025 年 2 月 17 日 24-21 号

110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5 医労連会館 5 階

電話 03-5808-5344 FAX03-5808-5345

メール k25@shahokyo.in HP <https://shahokyo.jp/>

部内資料

払える国保へ 国庫負担増を強く要請 ～厚労省に 7 万 4 3 6 6 筆の WEB 署名提出～



2 月 12 日、中央社保協は「高すぎる国保料（税）」を引き下げるため、国保の国庫負担増額などを求める要請行動を参議院会館内で行いました。

要請団 47 名（会場 29 名・オンライン 18 名）で、厚労省から 2 名が応じました。

【写真】厚労省要請で挨拶、WEB 署名を提出する沢野運営委員（北海道社保協）



中央社保協の要請事項は 4 点。①国民健康保険財政に国庫負担 1 兆円を投入し協会けんぽ並みの保険料（税）にすること。②国民健康保険料（税）は応能負担を原則とし均等割・平等割保険料（税）は廃止すること。③18 歳までの均等割保険料（税）を免除すること。④従来の国民健康保険証を使い続けられるようにすること。です。

国保部会の澤田さん（愛知社保協）が要請趣旨を説明。その後オンラインから奈良県のシングルマザー川瀬さん（仮名）、愛知県のフリーランス生田さんが、高すぎる国保料による生活実態について発言し、国に高すぎる国保の引き下げを求めました。

続いて障全協からは、社会福祉法人「麦」の渡辺さんが発言。障害者のマイナ保険証の取得や利用の困難さ、マイナ保険証を預かれない施設、各自治体の資格確認書発行対応の違いで混乱する実態などを発言し、保険証の存続を求めました。

